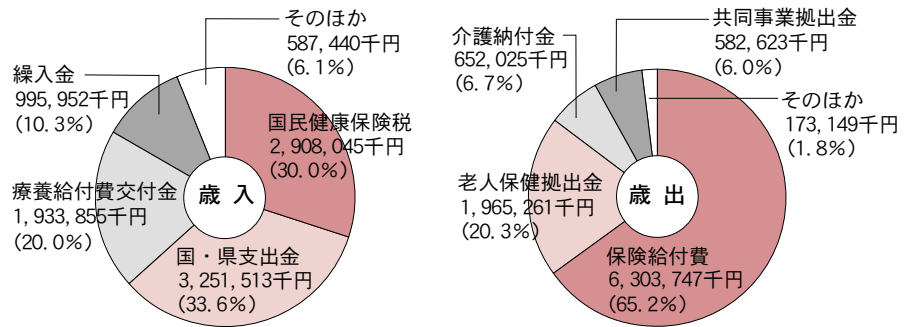


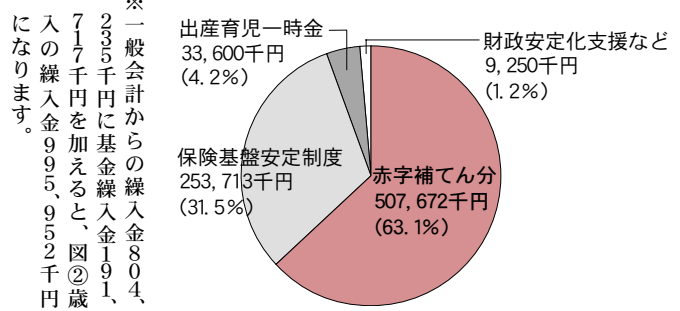
に納めていただく国保税や、国・県から交付されるお金などです。一方、主な支出は、加入者の方が病院にかかった費用の保険者支払分の医療費などです。

図② 平成18年度国保特別会計予算(総額9,676,805千円)



平成18年度における国保の財政を一般家庭に例えると、「収入よりも支出が多くて生活が厳しいので、親である一般会計から5億円を超える援助をもらって赤字を補っている」状態です(図③)。

図③ 平成18年度国保特別会計への一般会計からの繰入金内訳(総額804,235千円)



※一般会計からの繰入金804,235千円に基金繰入金191,717千円を加えると、図②歳入の繰入金995,952千円になります。

◆国保会計に貯金はないの？

平成18年度に、国民健康保険財政調整基金の全額191,717千円を繰り入れて使いますので、今年度末には貯金がなくなることになります。

◆多額の医療費と少ない負担

◆なぜ赤字なのか？

表②をご覧ください。

日光市は、平成16年度時点の一人当たりの年間医療費が県内44市町村の中で上位(1位)〜4位と9位の市町村で合併しており、県の平均を大きく上回っています。

表② 一人当たりの年間医療費・国保税(料)の比較(平成16年度)

県内順位	1人当たりの年間医療費	県内順位	1人当たりの年間国保税(料)
1	旧足尾町 487,073円	1	上三川町 97,735円
2	旧日光市 390,843円	29	旧日光市 76,511円
3	旧栗山村 375,313円	30	旧今市市 75,678円
4	旧藤原町 356,827円	35	旧藤原町 71,960円
9	旧今市市 326,143円	41	旧栗山村 64,105円
44	那須塩原市 273,357円	44	旧足尾町 50,644円
	県平均 315,129円		県平均 85,183円

一方、一人当たりの年間国保税(料)は、一番高い旧日光市でも29位で、県の平均を大きく下回っています。つまり日光市は、医療費などの支払いが多い(≡支出が多い)のに、国保税がほかの市などに比べて低い(≡収入が少ない)ため、赤字になってしまつたのです。

◆收支のバランスをとるために

国保を健全に運営するためには、まず收支のバランスをとらなければなりません。そのためには、税率などの改定

◆国保の財政健全化に向けて

◆国民健康保険運営協議会

国民健康保険運営協議会(委員18名、国保加入者・医者・議員などで構成)に対し「国民健康保険について」の諮問をしています。協議会では、不均一課税の解消や国保財政の立て直しについて、現在さまざまな角度から検討しています。

くわしくは 市民課 国保年金係 (21) 5110

